

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区豊洲2-2-1アーバンドックららぽーと豊洲3 3階
施設名	キッズスクウェア 豊洲ベイサイドクロス

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

光

〈テーマの設定理由〉

・保育室に差し込む光、光を通してできた影や光の形への興味を示す姿があること。
・色の違いや形の違いや影が動く様子に気付き「なんでだろう」と思う姿がある。
・日常にある光や色を通して変化する色味や揺らぎ、光を通してできたときに起こる自然現象に対して興味や関心を深めていく機会を作るため。・色の違いを楽しむため。

2 活動スケジュール

- ①光に気付き興味、関心を高めよう！（0～2歳児）
光にシートをあててみよう！（0歳児）
 - ・晴れの日と曇りの日で保育室に差し込む光（明るさ）の違いを知ろう！
 - ・太陽の光の差し込みによってできる光の筋や形に気付き興味、関心をもとう！
 - ・光に触れてみよう！
- ②明るい所と暗い所でのライトの明るさの違いを体験しよう！（0歳児・1歳児）
 - ・暗くした部屋でライトをつけてみよう！
 - ・色がついたライトを使ってみよう！
- ③ブラックライトシアター鑑賞を楽しもう！（0～2歳児）
 - ・ひな祭りのパネルシアターをブラックライトシアターを使って見てみよう！
 - ・いつものパネルシアターとの違いはなにか？
- ④スタンドグラスを作ろう！（1歳児・2歳児）
 - ・カラーセロファンを使ってオリジナルのスタンドグラス作りしてみよう！
 - ・カラーセロハンを通して見た景色は普段と同じ？違う？を確かめよう！
- ⑤スタンドグラスを飾った部屋で遊ぼう！（0～2歳児）
 - ・スタンドグラスを飾った部屋で遊ぶことを楽しもう！
 - ・光が差し込んだときに起こることはなんだろう？
 - ・色がついた所で遊んでみよう！

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

①準備物：ステンドグラスシート。

環境：晴れた日の太陽光の差し込みによってできるカーテンやパーテーションでできる光の大きさなどを利用。ロールカーテンをあげる高さ、パーテーションの配置で調整ができる。

②準備物：LEDライト、キッチンライト、マグネットボード、ミラーボード、水の入ったペットボトル

環境：ホワイトボードに3色のライトを貼っておく。部屋を暗くする。（真っ暗ではなく、カーテンの隙間から光が差し込むくらい、午睡時位の明るさ）

③準備物：パネルシアター舞台、ブラックライト、ブラックパネルシアター「うれしいひなまつり」

環境：②の時と同じくらいの暗さにする。初めて見るブラックライトシアターの為、怖がる子がいる可能性もあるので部屋の明るさは調整できるようにしておく。

④準備物：中を空洞にした四角型に切った段ボールにOPPテープを貼り付けたもの、四角や三角などに切ったカラーセロファン（4色）

環境：カラーセロファンは多めに切っておき足りないことがないようにする。今回は光を通すのではなく、カラーセロファンを通して見える景色を体験する。

⑤準備物はなし

環境：③で作ったステンドグラスを部屋のドアの丸窓と窓に付けて飾る。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・晴れている日に保育室に太陽の光が差し込むと明るく、まぶしくなること。雲で太陽が隠れると暗くなり、雲が動くと再び明るくなることを発見。
- ・カーテンの隙間や仕切りの丸型の穴を通してできた光の形に気が付き指差しをしたり、光を踏んで見たり触れるのか、感触はあるのかなど探求する。
- ・自然の光を観察した後に色を通して光の変化を探求する。
- ・暗闇でみる光の見え方を探求する。
- ・ステンドグラスを通すことで生まれる環境の変化を探求する。

〈活動中の姿〉



〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

①光に気づき興味、関心を高めよう！

- ・保育者がロールカーテンを大きく開けたときに明るくなった方向を見る、窓を指差しをする、まぶしそうな表情をする。
- ・「まぶしいね」「（明るい所、光が当たる場所）大きくなったね！」や気が付いていない友だちに「あー！」「みてみて！」と知らせようとする。
- ・色が付いたシートに興味をもつ。
- ・色が付いた光に気が付き指差したり、「あー！」と声を出し嬉しそうに知らせる

②明るい所と暗い所でのライトの明るさの違いを体験しよう！

- ・自分でライトのON・OFFができることに喜びを感じている。
- ・ライトに色が付いていることに気が付きライトの色を、見比べる姿が見られる。
- ・お友だちの服や鏡、壁に向けてライトを当てて、色が付く様子を見て「あー！」「お～！」と声をあげていた。

③ブラックライトシアター鑑賞を楽しもう！

- ・初めて見るブラックライトシアターにドキドキしている子もいるようで表情がいつもより固めの子もいる。部屋の電気を消し、ブラックライトをつけると「あ！」「ついた」と指差しをして、友だちや保育者に知らせようとする姿が見られた。
- 聞いたことのある、ひなまつりの歌を取り入れたシアターだったので、所々保育者と一緒に歌ったり、振り付けをしたりしながらシアターの世界に入りこめていた。

④スタンドグラスを作ろう！

- ・保育者がカラーセロファンを貼る前の土台を見せると「なにそれ！」「テレビみたい」との声が出る。
- ・カラーセロファンを見せて土台の粘着面に貼り付けて色のついた部分から子どもたちを覗く仕草を見せると興味津々で「やってみたい」「触ってみたい」「早くやってみたい」といった気持ちが出ていた。
- ・透明のテープをつけた土台を配るとまずは顔にあてて透明のテープ越しに見える景色を見ようとする。粘着面側が顔や髪の毛に軽くくっつく子もいたが、それも楽しんでいた。
- ・カラーセロファンを貼り付ける作業では、色にこだわる子、形にこだわる子。沢山使いたい子、重ならないように貼りたい子、貼った場所を変えたくて剥がそうとする子、それぞれの個性が詰まったスタンドグラスが出来上がった。
- ・カラーセロファンを貼った状態で顔を当てて、最初の何も貼っていないときとの違い、色がついた景色を楽しみ、「みてみて！」「みえる？」と友だち、保育者に見せ合い、自分の作品に愛着をもっている様子。
- ・「きれいね」「いいね」と出来上がった嬉しさを共有しあう。

⑤スタンドグラスを飾った部屋で遊ぼう！

- ・子どもたちが登園する前に、保育室のドアの丸窓、窓にスタンドグラスを貼っておいたので、登園し、保育室のドアの前に来ると「あ！」と声を出し、指差しをして普段との違いにきがつく。
- ・ドアを開けて保育室に入ると窓にもスタンドグラスが貼ってあることにすぐに気づき「あったね！」「つくったね！」「なんだろうね」「ラッピングされてるみたいだね」などの声が聞こえてくる。見入ってその場からなかなか動かない子もいた。
- ・遊びの中で時間が経過し日の光の差し込みに変化がでた時に保育室の床にスタンドグラスの光が写りだしたことに1人、2人と気が付き始め指差しをしながら「あ！」「みてみて」と興味を深める。
- ・光の当たるところにいてみたい、触れてみたいと探求意欲がでてきたところで、光の場所でも遊べるように光のエリアまで環境を広げる。
- ・最初は光に触れないギリギリの位置で観察をし、徐々に光へ手を伸ばして触れてみようとする。自分の手に黄色や赤の色が着くことに気が付き、手だけでなく、足も踏み入れ体全体を光の中へ入れてみるようになる。
- ・自分や友だちの服や髪の毛にも色が付いていることにきがつき、「手が！」「足が！」「いろがついた！」「見てみて髪の毛が赤くなった」「キャベツ、お皿（玩具）の色が変わった！」と色がどこについたかを知らせてくれる姿見られた。
- ・光の上で寝転んだり、ジャンプする道に見立てたり、光を通しての遊びが大きく広がっていった。

5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

①②

- ・太陽の光を使った活動と部屋を暗くして電気の光を使った活動を行うことで、同じ光のテーマであっても見え方が違うと感じた。
- ・太陽の光は太陽の向きによって移動していくので、活動する時間や天候を考える必要があると思った。
- ・今回は冬に行った為、午前中の早い時間だ合ったが、夏場であれば煮の当たる時間が長くなるので、活動時間が長く取れたり、夕方の西日の差し込みからも光遊びができるのかを検証してもよいと感じた。

③

- ・ブラックライトシアターは頻繁に取り入れるというより、特別な時に行うことで、子どもたちの興味や関心が高めていけるのではないかと感じた。
- ・今回は保育者がパネルシアターを演じたが、今後は子どもたちが蛍光の絵の具やクレヨンで作った作品を使って演じたり、子どもたちが演じてもらったりの取り組みを取り入れても楽しめるのではないかと思った。

④

- ・製作では夢中になって貼っている姿があり、いつもの表情とは違ったように感じた。
- ・貼り終わった物を自分たちでのぞき込み「しろになった」「うわぁ」と言って色の不思議を感じていたのが印象に残った。

⑤

- ・スタンドガラスが飾ってある部屋の環境の変化にすぐに気が付き指差しをして興味を示し保育者に知らせたい、気持ちを共有したい思いが出ていることが感じられ、こちらも楽しい気持ちになった。
- ・色の反射に反応が薄かった子もいたが、観察をしてから参加したかったのか、最終的にブロック（玩具）で光をなぞったり、ブロックの影に気が付いたり反応に変化が見られたことが面白かった。
- ・光を触るだけでなく、寝転がったりジャンプしたり遊びを広げていく姿が楽しかった。
- ・スタンドガラスは外に持って行っても楽しめるのではないかと感じた。

全体

- ・日常の中に光は沢山あるが、それに気が付くか気が付かないか、遊びに活かしたり、発展させることができるかは、子どもの反応、気づきを見逃さない保育者の気付きが大切だと感じた。
- ・光の明るさ、暗さ、色の違い、色を通す通さないなど、様々な気付きが見られたことは大きな収穫なので、今後の保育活動、遊びの中でも取り入れていきたい。
- ・光は暖かい、特に太陽の光という、温度にも関心を持つ子もいたので、光から派生して広げていくことも子どもたちの探求欲を高めるものになっていくのではないかと感じた。